

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 70》2018年12月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～
【豊後高田市／杵築市】



(豊後高田市)
長安寺



(豊後高田市)
そば



(杵築市)
酢屋の坂



(杵築市)
山香温泉風の郷

大分県台湾プロモーションを実施しました

11月5日から8日にかけて、知事や県内の経済観光団体の関係者10名が台湾を訪問し、大分県をPRする台湾プロモーションを実施しました。県では観光誘客、県産品の輸出拡大を目指し2015年から台湾プロモーションを行っており、今年で4回目の開催になります。

今回の台湾プロモーションでは、11/3に開幕した国際博覧会「台中フローラ世界博覧会」に出展した大分ブースを視察しました。ブースでは本県の伝統工芸である竹工芸をPRするため、県内在住の竹工芸作家6名の作品9点を紹介しました。生花の展示が多い会場で、本県のブースは美術館のような雰囲気非常に好評でした。

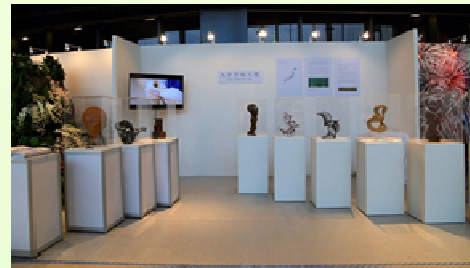
また屋外には別府と由布院の温泉等を宣伝する観光ブースを出展し、来場者に県内観光地の魅力をPRしました。

その後、台中市の林市長、立法院の蘇院長、三三企業交流会の江最高顧問、台湾日本関係協会の邱会長を表敬訪問しました。各訪問では、地域間交流や経済観光交流について意見交換を行いました。

また、今年からおおいた豊後牛の取り扱いを始めた日和国際実業を訪問し、呉社長から販売状況などについて伺いました。現在富裕層向けに販売を行っており、香りがよく柔らかく評判がいいとのことでした。

このほか台北市と台中市でそれぞれ夕食会を開催し、県人会の皆様に参加いただきました。現地での苦労話や大分の話で大変盛り上がりしました。

県では引き続き台湾との交流を進め観光誘客や県産品の輸出拡大に取り組んで参ります。



左：台中大分県人会
の皆様と

右：台北大分県人会
の皆様と

香港で大分フェアを開催中です

香港で7店舗を展開する日本食レストラン「別府九州地獄拉麺専門店(通称:別府麵館)」での大分フェアが、11月6日から始まりました。「別府麵館大分フェア」は今年で8回目の開催となり、初日のオープニングイベントにはメディアを中心に約50名ほどが参加し、非常ににぎやかなオープニングとなりました。



呂社長から大分県への記念品贈呈



大分フェアメニュー

今年の注目食材は、国東市で生産されている豚肉「桜王豚」で、65°Cの低温でじっくり3時間調理をしたチャーシューののったチャーシュー麺が提供されています。別府麵館の社長で大分県海外親善大使でもある呂恵光氏は、「桜王豚が非常にいい食材。その食材を、別府麵館独自の調理法で柔らかく仕上げました。ぜひお楽しみください」と自信をもってお勧めしていました。フェアは12月19日まで開催されますので、香港にいらっしゃる方は、ぜひご訪問ください！

駐日各国大使館職員と意見交換を行いました

「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置する大分県は、多くの観光資源に恵まれた魅力あふれる地域です。また、世界有数の温泉大国・日本の中でも、随一の源泉数と湧出量を誇る「日本一のおんせん県」としても知られています。2019年開催のラグビーワールドカップや、2020年東京オリンピック等を控え、今後一層海外からの来県が期待されます。

そこで、まずは来年に迫ったラグビーワールドカップ2019大分開催に向け、去る11月8日、大分県東京事務所にて、試合開催国(オーストラリア、フランス、ニュージーランド、イギリス、ウェールズ)の駐日大使館の方々を招聘し、海外観戦者の受入や大会期間中の観光等についての情報及び意見交換会を行いました。スタジアム周辺のアクセスや飲食店情報についてなど、大使館側からも多くの質問・意見が寄せられました。



また、当日は美しい映像とともに大分県の魅力を伝えるPR動画「Welcome Oita Wonders」を放映。「色々なWOWの旅」をテーマに、大分県でしか体験できない自然風景や文化、観光資源等を4K映像で紹介しました。※動画はこちら(<https://www.youtube.com/watch?v=2gggt2niG5xY>)からご覧いただけます。

意見交換会の後は大分県公式アンテナショップ「坐来大分」にて懇親会も開催。県産品を使用した料理を堪能いただきました。

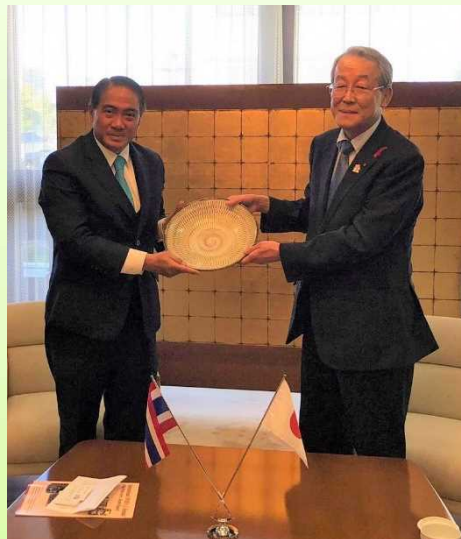
【広報広聴課】

駐福岡タイ王国総領事が副知事を表敬訪問されました

11月9日に、アッタカーン・ウォンチャナマース駐福岡タイ王国総領事が来県され、二日市副知事に着任の挨拶をされました。

今年10月に福岡市に総領事館が開設され、ウォンチャナマース総領事が着任しました。中国地方と九州・沖縄の13県を管轄する同総領事館は現在、仮のオフィスで運営中ですが、来春には事務所が完成し、本格的なサービスを稼働することです。

二日市副知事は、「タイは大分県の海外戦略においても重要な国であり、県産品の輸出や観光誘客に取り組んでいる。福岡に総領事館が開設されたことは大変喜ばしいこと。今後は多方面で協力を賜りたい」とし、ウォンチャナマース総領事は、「大分県にはタイから多くの留学生を受入れて頂いて大変感謝している。留学生を起点として相互の交流がより深まることを期待している」と述べられました。



湖北省研修生 陳さんをめじろん海外特派員に任命

湖北省から研修に来ていた陳娟さんが、6ヶ月間の研修を終えて帰国されました。めじろん海外特派員に任命されたので、湖北省と大分県の架け橋としてご活躍されることを期待しています！



6ヶ月間、あっという間でした。一人で異国で暮らしているのがホームシックになる時もしばしばありましたが、みなさんがあたたかく、親切にしてくれましたので、毎日楽しく過ごしました。みなさんが楽しい歓迎会を開いてくれたことも、津久見扇子踊り大会に参加したことも、世界最大級の観光イベント「ツーリズムEXPOジャパン2018」に参加したことも、すべてが昨日のここのように頭に浮かびます。みなさんに会えなくなるのがさびしいです。この6ヶ月間の研修を通じて、日本語を勉強して、日本の文化の魅力と観光発展の状況を理解し、多くの新しい知識を身に付けました。今回の日本の研修に参加できて、とても光栄です。帰国後、孝感市の特色ある旅行プロジェクトの発展に力を入れ、日本で学んだ経験を活かして、孝感の観光宣伝の仕事に活用したいです。大分県は日本の有名な温泉県で、孝感市はまた中国の有名な親孝行の発祥の地です。二つの都市の観光資源はすべてとても豊富で、これからもっと多くの交流を促進し、お互いに学びあい、共同で友好交流を推進したいと思います。最後に、今回の研修中、みなさんのご指導とご協力をありがとうございました。

市町村からのお知らせ【別府市】

〈国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が閉幕〉

国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が11月25日に閉幕しました。リーディング事業である、世界的に著名な彫刻家による「アニッシュ・カプーアIN別府」は県内のみならず海外からもたくさんの観客が訪れ、約5万5千人の方にご来場いただきました。分野別事業は「九州マーチングバンドの祭典」「ニッポンの祭り唄・盆おどり全国大会」等11事業が開催され、来場者数は1万1千人を超えました。リーディング事業、分野別事業共に大盛況のうちに幕を閉じました。



〈ヒト・コミュニケーションズ サンウルブズプレシーズン合宿実施決定〉



©JSRA photo by H.Nagaoka

ラグビーの世界最高峰リーグ「スーパーラグビー」に参戦する日本チーム「サンウルブズ」が2019年1月19日から26日に別府市でシーズン前の合宿を実施することになりました。別府市は2019年秋に行われる「ラグビーワールドカップ2019」においてニュージーランド、オーストラリア、ウェールズなどの公認チームキャンプ地になっており、この合宿によりますます機運が盛り上がることを期待されています。

〈新プロジェクト「別府市学生大同窓会」開催決定〉

来る2019年3月23日に、別府大学・別府大学短期大学部、別府溝部学園短期大学、立命館アジア太平洋大学、市内3大学合同で同窓会を実施いたします。在校生を中心に結成された運営部隊が繰り広げる規格外のおもてなしを、同窓生をはじめ、どなたでも気軽に参加でき楽しめる「里がえり」イベントを企画しています。イベント内容はウェブに随時掲載していきます。



<http://daidousoukai.gokuraku-jigoku-beppu.com/>

総合監修:清川進也

〈代表作〉

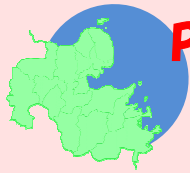
別府市 湯～園地計画(2017)

おんせん県おおいた シンプロ(2015)

NTTdocomo 森の木琴(2011)



【別府市文化国際課】



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（11月）

News

【11月10日（土）】生まれ変わったラグビーの聖地

来秋のラグビーワールドカップ日本大会に向けて豊後企画大分駅原球技場（11月1日より名称変更）が改修工事を終えました。芝生の張り替え、観戦スタンドの建て直し・拡大、更衣室やシャワー室のある管理棟が新築されました。10日、オープニングイベントが開催され、その後7人制ラグビー国際親善試合「日本対フィジー戦」があり、千人を超える観客が訪れました。

News

【11月17日（土）】トリニータ J1昇格！

17日に大分トリニータとモンテディオ山形による試合がNDソフトスタジアム山形にて行われ、結果は1-1と引き分けでしたが、大分トリニータは6年ぶりとなる来季のJ1リーグへの昇格が決定しました。勝ち点76で横浜FCと町田を得失点差で上回り、2位での自動昇格となりました。

News

【11月18日（日）】国際車いすマラソン大会

第38回大分国際車いすマラソン大会が18日に開催されました。去年は台風で中止となったため、2年ぶりとなるレースには16ヶ国から223人が参加しました。T34/53/54男子はマルセル・フグ（スイス）選手が7度目の優勝を飾り、同女子は喜納翼（キナ ツバサ）選手（沖縄）が2連覇しました。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

「大分で会いましょう。」プロジェクトからのお知らせ

★ミーティングツアーvol.1スピンオフ企画「大分で猫に会いましょう。」写真集販売開始！★

全国から多彩なゲストを迎え、大分県のまだ知られていない魅力について各地で楽しいおしゃべりを繰り広げるリアルな情報発信局「大分で会いましょう。」

今回、そのスピンオフ企画として写真集「大分で猫に会いましょう。」が発売されました。

ミーティングツアーVol.1でゲストとしてお迎えしたモデルの前田エマさんが、大分大学写真部の吉江丞晴さんとともに佐伯市深島を訪問。ダイビングの聖地として有名な一方、近年では「猫の楽園」としても知名度が高まっている深島の、個性豊かに暮らす猫たちの表情を捉えました。様々な人と場所との出会いを通じて実現した、「大分で会いましょう。」ならではの写真集です。

★「大分で会いましょう。WEEK」実施レポート★

11月16日～24日の一週間、「大分で会いましょう。WEEK」と題し、大分市内を中心に様々なミーティングイベントを開催しました。ロフトワーク代表取締役・林 千晶さんと「大分で会いましょう。」プロデューサー・松田 朋春さんによるオープニングトークを皮切りに、期間中は大分市内中心部で飲み歩きSNS企画「あの人にあの店で会いましょう。」を展開。Twitterのハッシュタグ（#大分で会いましょうWEEK）を活用し、参加者全員で会話や料理を楽しむイベントを実施しました。

そして、最終日を飾ったのは、大分県立美術館OPAM地下駐車場で行われたミーティングイベント「OPAMで会いましょう。」。美術館地下駐車場にスナック風ミニブースを設置し、飲んで食べて楽しむ懇親会という、OPAMとしても初の試みを行いました。

プロジェクトのメインビジュアルにも登場した田井 肇さん（シネマ5支配人）と麻生 勝水さん（(有)デザインマップ代表）によるスペシャルトークのほか、baobab（ミーティングツアーVol.3出演）ほかをゲストに迎えたミニライブをはじめ、これまでプロジェクトに関わってくださった方々もスナックのホストに迎え、400名以上の方に参加いただき、大盛況のイベントとなりました。

※「大分で会いましょう。」公式ホームページ <https://oita.love>※



【広報広聴課】

From our Reporters

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



金 眞雅
(Kim Jina)

一昨年は竹田の竹楽、去年は日田の千年あかりに行ってきた、「大分三大竹灯り」を制覇したいと宣言したとおり、今年は白杵の竹宵を見に行ってきた。日が暮れてもいないのに、二王座歴史の道には人で溢れていました。空の色が暗くなるにつれ、竹灯りが古い街並みを鮮やかに彩りました。竹宵のメインイベントである「般若姫行列」を見るために八坂神社へ行ったら、まるでディズニーランドのパレードを待っているかのように大勢の人が人垣を作っていました。目の前を通るのは一瞬でしたが、竹灯りに照らされた姫はさらに美しく見えました。

「大分三大竹灯り」は多くの竹灯籠が城下町を幻想的に彩るという点は共通していますが、何処もそれぞれ特色があり、オブジェにも個性が溢れていました。ということで、3年掛けてやっと「大分三大竹灯り」を制覇することができました！



セーラ・バックレイ
(Sarah Backley)

自分の街の観光地を見回るのは普段はあまりない機会ですが、11月に友人がニュージーランドから、そして祖父母がイギリスから連続で大分へ訪れたので、大分県の魅力を出せるだけ紹介しました。この二週連続で沢山の観光スポットを訪れましたが、みんなのお気に入りにはやっぱり別府市の海地獄でした。

壮大な「1000年の歳月を宿す温水」の青い温泉が海地獄の主要な魅力ですが、他にも多くのする事と見る物があるのが海地獄の特徴だと思います。独特の温泉の臭いにはすぐ慣れ、温泉で茹でた卵と蒸したプリンを二回とも食べました。入場する瞬間、素敵なお庭園、足湯、温泉の右側にある小さな神社等の魅力的な施設が沢山あり、秋に応じた赤い葉っぱの背景が予想以上に綺麗で、感動しました。



方 応梅
(Fang Yingmei)

大分県に来たばかりの時、立命館アジア太平洋大学が大分県の別府市にあることを知った時にとっても驚いて嬉しかったです。ずっとそこに行きたいと思いました。なぜかという、私は大学を卒業して社会人として働き始める時に、APUへ行ってさらに勉強したいと思ったからです。お金の関係で来られなくなって残念でした。

今回の在日機会を利用して先日APUに行ってきました。校庭には孔子学院があり、運動場も二つあって、とても広くてきれいです。学生の食堂で鯖、マーボー豆腐、たこ焼を食べました。とても安くて美味しかったです。宿泊棟がないかなと思って、鉄鋼で作られた橋のようなものを渡って奥に行くとき突き当りの所に宿泊棟があります。生活区と教学区が別々にあったらいいと思います。校庭の西の方の階段を少し登って見たところ、遠くの別府湾や高崎山も自然に目に入って、最高の眺めです。今度天気もつよい日にあそこにもう一度行って見たいと思います。



シェ シンラン
(Xie Xin Lan)

先月、宇佐神宮で取材を行いました。その際に禰宜様から、明治神宮にまつわるお話を伺いました。東京のコンクリートジャングルを歩き、明治天皇・昭憲皇太后を祀る明治神宮にたどり着くと、清らかな空気が流れ、ご神木が並んで立っている壮大な森があります。

この地は、元々何も無い荒地だったが、森を作るに当たって、日本全国各地からのボランティアが木を運んできたそうです。その中には、大分県の参加者もいたと聞きました。大変興味深いお話なので、明治神宮を訪れました。休日の人混みをすり抜け、秋の風を味わいながら、木漏れ日を浴びていました。ちょうど年一回の新嘗祭が開催されていたので、ちょっと見に行ったら、大分県の奉納品の中に名物の乾し椎茸を発見し、親近感が湧いてきて、思わず笑顔が浮かんできました。こんなに遠く離れている場所でも大分県のものが見れて、とても嬉しく思います。



～編集後記～

国民文化祭・全国障害者芸術・文化祭が多くの皆様にご参加いただき大変盛り上がりながら閉幕しました。約2か月にわたって、県内各地で開催された芸術・文化の祭典に、大分の文化の多様性・奥深さにあらためて気づいた方も多かったのではないのでしょうか。大分大会の特徴の1つは、文化を通じて県下各地を巡り、地域の食や伝統芸能もあわせて体験する「カルチャーツーリズム」が楽しめたことです。大分の豊富な食材をいかした食文化も含めて、県内各地の文化が気軽に体験できるこうした試みは、今後も継続できるとよいですね。

(国際政策課長 徳野 満)

県内の最新の観光情報はこちらからご覧ください！

(ツーリズムおおいたHP)
<https://www.visit-oita.jp/>

話題提供のお願い！

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！
(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp